

# 北洋銀行における 「ESG地域金融」の取り組みについて

北洋銀行 地域産業支援部

2020年9月8日



HOKU TO PARTNER  
ほくと仲間たち

# ● CSR基本方針とESG取組方針、SDGs重点取組テーマ

## ■ 私たちが考えるCSR（企業の社会的責任）とは

北洋銀行は、CSR基本方針に基づき「ESG取組方針」、「SDGsに係る重点取組テーマ」を制定し、社会や環境に対して責任を持ち、地域とともに発展することを目指しています。

### CSR基本方針

北洋銀行グループの「経営理念」に基づき、当グループを支えていただいている全てのステークホルダーの持続的発展に資する行動を全行で実践し、金融商品・サービス・情報等の提供、支援活動に努めます。

① 北洋銀行グループのステークホルダー  
ステークホルダーとは、企業の利害関係者のことです。ただし、金銭的な利害関係のある「お客さま」「株主さま」だけを指すのではなく、「地域」「環境」「職員」など、企業活動を行う上で関わる全ての主体を含みます。



### CSRの歩み

- 1984年 (昭和59年) ● 「インフォメーションパザール」開始
- 2006年 (平成18年) ● 企業内託児所「ほっくーとなかまたち」開設
- 2007年 (平成19年) ● 「ものづくりテクノフェア」開始
- 2010年 (平成22年) ● 「北洋エコボンド」取扱開始  
「ほっくー基金」設立  
「ほっくー定期預金」取扱開始
- 2011年 (平成23年) ● 道内3医大との包括連携協定締結  
「市民医療セミナー」開始
- 2012年 (平成24年) ● 専任部署「CSR推進室」を設置  
「北洋銀行presentsクラシックコンサート」開始
- 2013年 (平成25年) ● 「中学生作文コンクール」協賛開始
- 2014年 (平成26年) ● CSRに関連した方針を一本化し、  
「CSR基本方針」制定  
全行一斉ごみ拾い活動開始

### ESG取組方針

#### 1 環境方針

美しく豊かな自然環境を維持し次世代へ継承していくことは、我々の責務であり、持続可能な地域社会の実現に不可欠であるとの認識のもと、事業活動を通じて環境負荷低減に貢献するとともに、生物多様性保全など地域が抱える環境課題の解決に取り組んでまいります。

#### 2 社会貢献方針















当行は、地域金融機関として北海道経済の持続的成長に寄与することを責務と考え、金融仲介機能の円滑な発揮や多様なソリューションの提供に努めるとともに、様々なステークホルダー（利害関係者）が抱える社会的課題の解決に取り組んでまいります。

#### 3 ガバナンス方針

様々なステークホルダーと確固たる信頼関係を構築し、より実効的なコーポレートガバナンスを追求していくため、独立社外役員の活用等による公正性・透明性の向上、ならびにコンプライアンス態勢のさらなる強化に取り組んでまいります。

# ● CSR基本方針とESG取組方針、SDGs重点取組テーマ

## SDGsに係る重点取組テーマ

- |   |                   |                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | お客さまとの<br>共通価値の創造 | 事業性理解に基づく融資や各種ファンドの活用による金融仲介機能の円滑な発揮、地方創生や起業・創業・販路拡大・事業承継等、お客さまのニーズに応じた多様なソリューションの提供、ならびにそれらを活用した、地域の強みである農業・食・観光分野および課題であるモノづくりへの支援を通じて、お客さまとの共通価値を創造し、北海道経済の持続的成長に貢献してまいります。 |     |
| 2 | 環境保全              | 省エネルギー等への全行的取組みによる自行の環境負荷低減、多様な金融商品を活用した環境配慮型企業・環境成長分野へのサポート、ならびに北海道の生物多様性保全に取り組む個人・団体への助成等により、北海道の自然環境の維持・保全に貢献してまいります。                                                       |     |
| 3 | 医療福祉              | 少子高齢化の先進地域である北海道の実情を踏まえ、医療・福祉機関への経営面のサポートや道内医療大学との連携、ならびに障がい者支援等により医療福祉の充実に貢献してまいります。                                                                                          |                                                                                                                                                                           |
| 4 | 教育文化              | 貯蓄・投資を通じた安定的資産形成に資する金融リテラシーの向上を見据えた金融経済教育の推進、ならびに幅広い質の高い教育文化の振興に取り組んでまいります。                                                                                                    |                                                                                                                                                                           |
| 5 | ダイバーシティ           | 女性職員の能力発揮、仕事と家庭・生活の両立に向けたさらなる女性活躍促進・労働環境整備、ならびに外国人職員の活用など、多様な人財が活躍できる組織づくりに取り組んでまいります。                                                                                         |                                                                                                                                                                           |

## 北洋銀行SDGs宣言

北洋銀行は、当グループを支えていただいている全てのステークホルダーの持続的発展に資することを目的に推進しているCSR(企業の社会的責任)活動を通じて、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組み、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献してまいります。

2018年12月20日 取締役頭取 安田 光春

## CSRの歩み

- 2015年(平成27年)
  - 「サービス・ケア・アテンダント」の支店配置を開始
  - 第6回さっぽろ環境賞(生物多様性保全部門)優秀賞受賞
  - 「北洋スポーツ応援事業」開始
- 2016年(平成28年)
  - 「札幌商工会議所CSR経営表彰(環境貢献部門)」受賞
  - 「えるぼし(3段階目)」取得
  - 女性が輝く先進企業表彰において「内閣府特命担当大臣表彰」受賞
  - 「北海道家庭教育サポート企業等制度」参画
- 2017年(平成29年)
  - 「パラスポーツ応援債」取扱開始
  - 「ほっこー基金」を「ほっこー基金北海道生物多様性保全助成制度」としてリニューアル
- 2018年(平成30年)
  - 「北洋SDGs推進ファンド」設立
  - 「北海道活力強化ファンド」組成
  - 「ESG取組方針」(SDGsに係る重点取組テーマ)制定
  - 「北洋銀行SDGs宣言」表明
  - 「優良な子育てサポート企業(プラチナくるみん)」認定取得
- 2019年(令和元年)
  - 「ほっこー基金自然環境フォーラム」開催



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# ● SDGsの具体的取組

- 事業性理解
- 道産食材。食品の国内販路開拓支援
- 生物多様性保全活動 ほっくー基金
- 環境配慮型私募債 北洋エコボンド
- 道内教育機関との連携
- 地域医療活動への支援
- 芸術文化振興への取組
- 金融経済教育
- ワークライフバランスへの取組

ESG地域金融を盛り込んだ取組

- 北洋SDGs推進ファンド
- ほくよう農業地域活性化ファンド  
(北洋農業応援ファンド)

# 将来の水素社会を意識し、FRP 技術を活用した 高圧水素タンクの技術開発

## 【事業者の概要】

会社名等	カワテックス株式会社 (THE KAWATEX CO.LTD)
所在地	北海道砂川市空知太東1条3丁目2番10号

- ◆ 当社は、各種タンク・プラントの設計・製造等を行う事業者で、鉄やFRP（繊維強化プラスチック）などの複数素材を一体成型する特殊技術や、製罐加工、機械加工、各種プラント設計・製造・メンテナンスの一貫生産が可能であるなどの強みを持っている。
- ◆ 新たな取り組みとして、当社がこれまで培ってきたFRP技術を活用し、高圧水素タンクや水素ステーション用蓄圧器の製造・販売に向けて、技術開発を行う。

## 取組のきっかけ

### 【金融機関としてESG地域金融への取組の経緯・動機】

- ◆ 地域金融機関としての取引先の本業支援
- ◆ 事業性理解の早期実施
- ◆ ESG要素を考慮した、お客様との対話によるニーズ喚起

### 【ESG地域金融の対象案件を見つけたきっかけ・要因】

- ◆ お客様との対話の中で、水素エネルギー活用による脱炭素社会到来予測
- ◆ 対外的な信用力の更なる向上

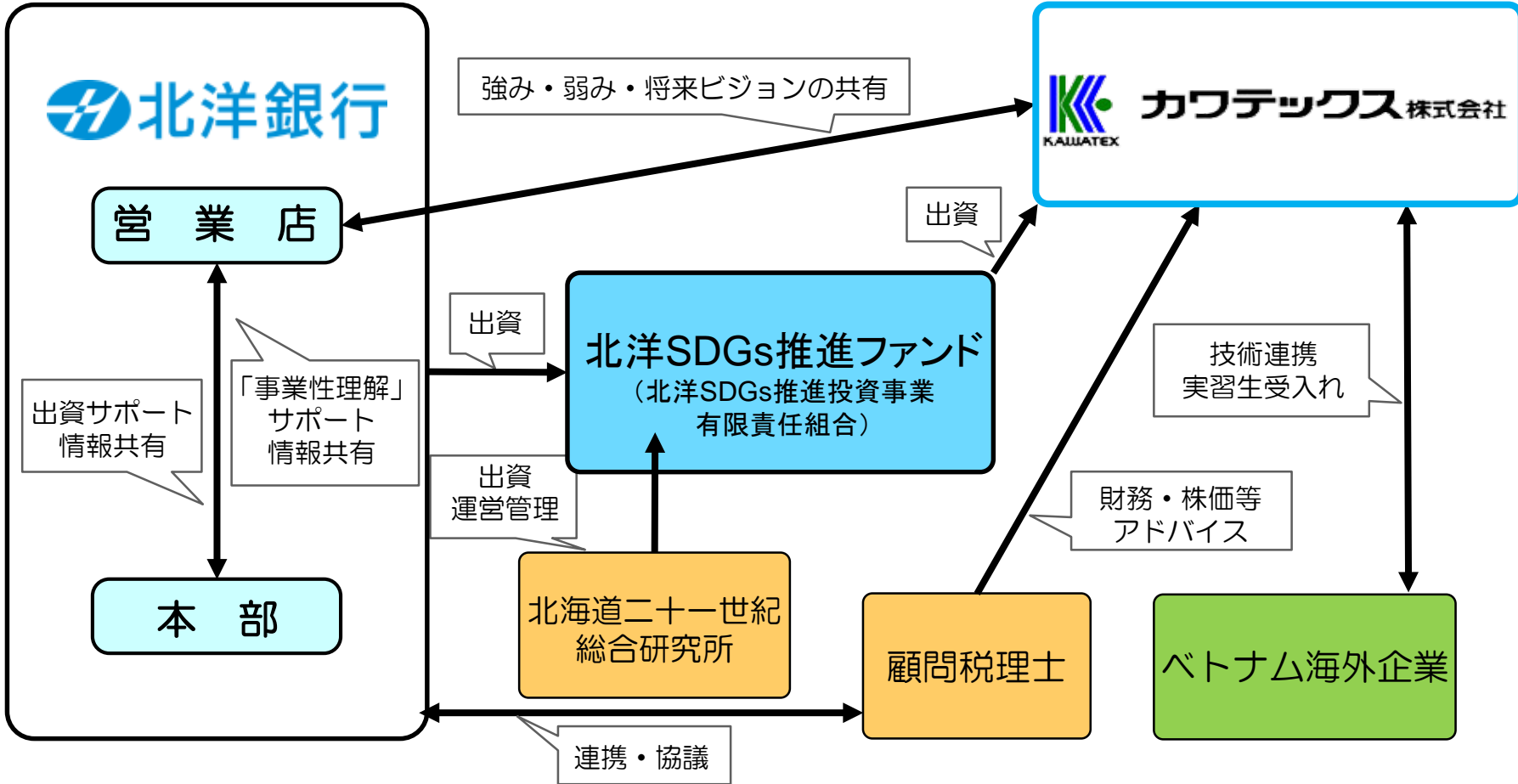
### 【想定される環境・社会的効果】

- ◆ 脱炭素エネルギーへの転換
- ◆ 気候変動への適応
- ◆ 雇用対策（創出）
- ◆ 海外進出

# ● 北洋SDGs推進ファンド活用による新技術開発支援

## 将来の水素社会を意識し、FRP 技術を活用した 高圧水素タンクの技術開発

【ステークホルダー】



# ● 実践の流れ ～ESG要素の把握・共有から支援

実践の流れ	実践のポイント	経験・成果、今後の展望
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 営業店の立体渉外継続によるリレーションの構築</li> <li>✓ 資金調達手法の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ お客様とのリレーションの構築が最重要</li> <li>✓ 融資だけではなく出資、補助金といった幅広い資金調達情報がお客様にとって有効な提案ツール</li> </ul>
ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業性理解の早期実施</li> <li>✓ 水素社会到来予測に基づく将来ビジョンの理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ お客様の財務内容だけではなく、外部環境、内部環境における強み、弱みを共有することが重要</li> </ul>
課題と価値の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 水素社会到来までの社会ニーズ等の課題を共有</li> <li>✓ 対話の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ お客様だけではなくお客様のステークホルダーを含めて課題等の共有が重要</li> </ul>
共有すり合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ お客様、顧問税理士、営業店、本部による課題、価値、将来ビジョンの共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ お客様との事業計画策定により、お客様の将来価値を共有することが可能となる</li> </ul>
支援の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「北洋SDGs推進ファンド」活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 金融機関の出資実行による対外信用力の更なる強化が実現</li> </ul>
横展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「北洋SDGs推進ファンド」の実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 海外企業との連携強化の強みとなることが出来た。</li> </ul>

## 耕作放棄地を再生したボタニカル（香草植物）栽培による地域活性化事業

### 【事業者の概要】

会社名等	株式会社積丹スピリット
所在地	北海道積丹郡積丹町大字野塚町ウエント229番地1

- ◆ 当社は“積丹GINプロジェクト”（ボタニカル（香草植物）の栽培と積丹町の植生を活かしたジンの蒸留）を行う事業者。“積丹GINプロジェクト”は、積丹町が遊休地の利活用を目的に内閣府の地方創生交付金事業を活用し、3年間の研究・調査を重ねた事業で、当社は当事業を実施するため2018年3月に設立され、2020年6月より商品販売開始。
- ◆ ボタニカルの栽培は積丹町が所有する耕作放棄地を再生利用しており、今後、規模拡大に合わせて再生面積を増やすことで森林保全や絶滅危惧種、希少種の再生にも取り組む。

### 取組のきっかけ

#### 【金融機関としてESG地域金融への取組の経緯・動機】

- ◆ 地域金融機関としての新規創業支援
- ◆ 基幹産業を活用した地域活性化の検討
- ◆ ESG要素を考慮した休耕地、地域資源の再利活用の必要性

#### 【ESG地域金融の対象案件を見つけたきっかけ・要因】

- ◆ お客様との対話の中で、地域の課題等を共有
- ◆ 産官金連携による資金を含む全体ビジョンの構築

#### 【想定される環境・社会的効果】

- ◆ 自然資源の持続可能な管理
- ◆ 生物多様性保全
- ◆ 雇用対策（創出）
- ◆ 関係人口の増加
- ◆ 地域連携
- ◆ 海外進出

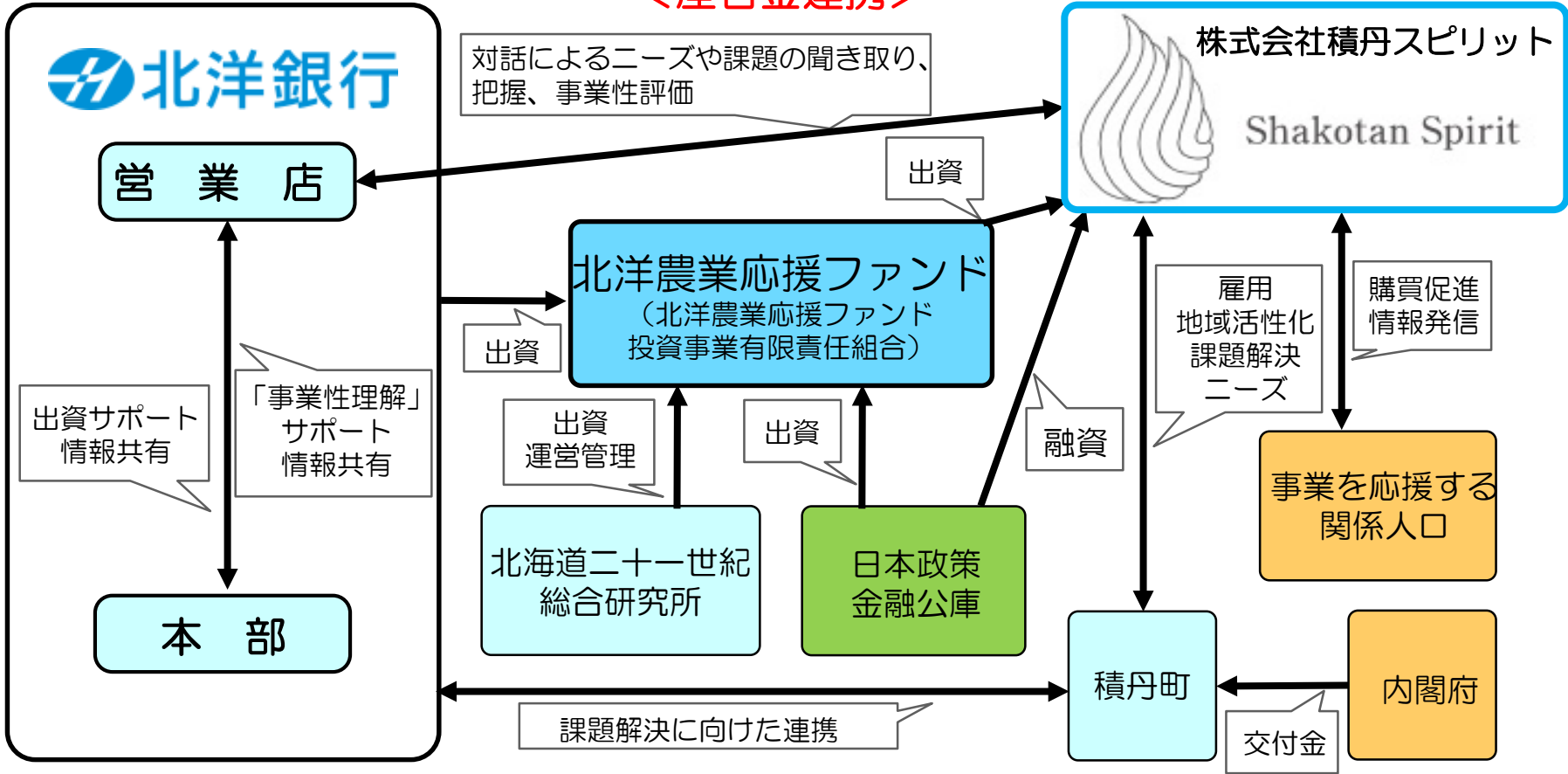


# ● 北洋農業応援ファンド活用による地域活性化支援

## 耕作放棄地を再生したボタニカル（香草植物）栽培による地域活性化事業

【ステークホルダー】

### <産官金連携>



# 実践の流れ ～ESG要素の把握・共有から支援

## 実践の流れ

事前準備

ヒアリング

課題と価値の  
把握

共有  
すり合わせ

支援の検討

横展開

## 実践のポイント

- ✓ 事業構想を早期の段階から共有（約3年前）
- ✓ 資金調達手法の情報提供
- ✓ 自治体も含めた「対話」の深耕による地域課題を把握
- ✓ 人口減少、耕作放棄地の課題と豊かな気候、森林資源の価値を把握
- ✓ ビジネスモデル、地域社会の課題解決について関係機関と共有
- ✓ 積丹町（交付金）、日本政策金融公庫（農林）との資金調達について検討
- ✓ 北洋農業応援ファンドの実行
- ✓ 近隣市町村との連携により地域一体での地域活性化

## 経験・成果、今後の展望

- ✓ お客様との早期リレーションの構築が重要
- ✓ 融資だけではなく出資、補助金といった幅広い資金調達情報がお客様にとって有効な提案ツール
- ✓ お客様の財務内容だけではなく、外部環境、内部環境における強み、弱みを共有することが重要
- ✓ お客様だけではなくお客様のステークホルダーを含めて課題等の共有が重要
- ✓ お客様との事業計画策定により、お客様の将来価値を共有することが出来た。
- ✓ 新規創設事業のため債務超過となるが、出資により債務超過期間を減少。
- ✓ 地域活性化のモデルケースとなり、北海道全体への波及。